

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2003-026548

(43)Date of publication of application : 29.01.2003

---

(51)Int.Cl.

A61K 7/08

---

(21)Application number : 2001-211621

(71)Applicant : KAO CORP

(22)Date of filing : 12.07.2001

(72)Inventor : UENO MASAOKO

---

## (54) HAIR TREATMENT COMPOSITION

### (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a hair conditioning composition that has pleasant smell of perfume and long retention of the smell, shows high spreadability and smoothness, when applied to the hair and gives the dried hair satisfactory smoothness, moistness, gloss, suitable resilience and firmness.

**SOLUTION:** The hair conditioning composition comprises the following (A) through (D) components: (A) an amide amine represented by general formula (1):  $R_1CONH(CH_2)_mN(R_2)_2$  (1) ( $R_1$  is a 13-21C aliphatic group;  $R_2$  is a 1-4C alkyl;  $m$  is an integer of 2-4); (B) a higher alcohol; (C) a mixture of a dimethylpolysiloxane with a viscosity of 500,000-20,000,000 mm<sup>2</sup>/s and a dimethylpolysiloxane with a viscosity of 10,000 mm<sup>2</sup>/s; (D) a perfume component having an vapor pressure of  $\geq 13.3$  Pa at 25° C.



テ-77-1-1\* (参考)

OL (全 7 頁)

(71)出願人	000000918 花王株式會社
(72)発明者	東京都中央区日本橋茅場町1丁目4番10号 上野 正子 東京都墨田区文花2-1-3 花王株式會社研究所内
(74)代理人	100068700 弁理士 有賀 三幸 (外6名)
Fターム(参考)	A00B5 A01C2 A00T1 A00T2 AC1C2 AC1C2 AC212 AC2B2 AC3E2 AC4T2 AC5A1 AC5A2 AC3A2 AD0A2 AD1S1 AD1E2 AD2B2 AD5C2 BB41 CC33
(22)出願日	平成3年7月12日(2001.7.12)
(21)出願番号	特願2001-211621(P2001-211621)

特開2003-26548

21

テ-77-10 (参考)

【課題を解決するための手段】本発明者は、特定のフッ素アミン化合物、硫黄フッ素アルキル及び有機硫黄のシリコンに、一定以上蒸気圧を有する液体成分を併用するようにより、使用時の香料の立ち上がり使用時の毛髪に雙方の作用を付与でき、また皮膚に対する作用も温風毛髪コンディショニング剤組成物を提供することとを目的とする。

香りをバランス良く持続させることができ、かつ、使用時の感触及び毛髪に対するコンデিশョニング効果に優れる毛髪コンデিশョニング剤組成物が得られることを示出した。

【0006】すなわち本発明は、次の成分(A)、(B)、

(C)及び(D)  
(A) 一般式(1)で表されるアミノアミン化合物又はその塩

$$R^1CONH(CH_2)_nN(R^2)_2 \quad (1)$$

[式中、R'は炭素数13~21の脂肪族基を

素数 1~4 のアルキル基を示し、m は 2~4 の整数を示す。)

(B) 高級アルコール

(C) 粘度が 50 万~2000 万  $\text{mm}^2/\text{s}$  のジメチルポリシロキサンと粘度が 1 万  $\text{mm}^2/\text{s}$  以下のジメチルポリシロキサンと

の混合物

(D) 温度25℃における蒸気圧が13.3kPa以上である炭化水素アルペン、アルチドノ類、エニテル類、エニテル類、アルゴン類及びケトン類から選ばれる少なくとも二つの香気成分を含むもの、毛織コンディショニング剤組成物を提供するものである。

【00007】

【発明の実施の形態】成分(A)であるアミノアミン化合物(1)は、毛髪への吸着性が高く、毛髪の濯ぎ時、乾燥時における濡らかさを付与する。また、他の成分の分散安定性にも寄与するものである。アミノアミン化合物

(1)の具体例としては、イソステアリン酸ジエチルアミ

[illegible]



7

リノール	30
α-タマスコン	1
β-タマスコン	1
ジエトロジヤスモン酸メチル	30
パニリン	2
テントローム	50
γ-メチルヨノ	60
α-ヨノ	5
β-ヨノ	5
γ-ウンデカトリコン	30
ジエロヒレングリコール	91
計	1000

【0029】(製造方法) 油相中に含まれるアミドアミン化合物及び高級アルコールを60〜75℃で溶解し、酸により中和した後、水相と乳化する。乳化後、40℃以下に冷却し、香料成分を添加する。なお、シリコン油は、あらかじめ界面活性剤によってエマルジョンとされた市販品を用いてもよく、この場合は油相と水相の乳化後にシリコンエマルジョンを添加する。

【0030】(評価方法) 評価項目1〜7 (塗布時のな

じみやすさ、すきぎ時の指通りの良さ、乾燥後の滑らかさ、ベタツキの無さ、サラサ感、ツヤ、使用時の匂い立ち) については、パネラー20名により、「良い」、「やや良い」、「どちらともいえない」、「やや良くない」、「良くない」の5段階で評価し、「良い」又は「やや良い」と評価したパネラー数により、以下の基準に従って判定した。また評価項目8 (残香性) については、パネラー20名により、処理直後の毛髪と処理後8時間の毛髪を比較し、匂いが処理直後に比べ、「変化が小さい」、「変化が小さい」、「変化がある」、「大きく変化あり」の4段階で評価し、「変化がない」又は「変化が小さい」と評価したパネラー数により、以下の基準に従って判定した。

【0031】

16〜20名：◎

11〜15名：○

6〜10名：△

5名以下：×

【0032】

【表1】

9

(塗料)	実 例									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
スチレン-無ジメチルシリロキシ-アロキシル	1.5	2	1	1.5	1	1.5	-	-	1	-
スチレン-無ジエチルシリエチルアロキシル	-	-	-	-	-	-	1.5	-	-	0.5
ベンゼン-無ジメチルシリロキシ-アロキシル	-	-	-	-	-	-	-	2	1	0.5
セチルアルコール	-	-	4	0.5	-	-	0.5	-	-	-
ステアリルアルコール	6	6	-	2.5	5	-	6	0.5	7.5	1.5
ヘニルアルコール	-	0.5	-	3	-	4.5	-	6.5	-	1.5
アロキシル	0.36	0.45	0.2	0.4	0.2	0.3	0.36	0.4	0.2	0.1
クエー	0.06	0.06	0.07	0.1	0.05	0.1	0.05	0.1	0.07	0.3
ポリメチルシリロキシ	-	1	-	0.5	0.5	0.5	-	1	0.2	0.1
ミリスチン酸ミリスチル	-	-	0.2	0.5	-	0.3	-	-	0.2	0.1
高重合ジメチルシリロキシ(400Jm/s)	0.75	-	-	1.5	-	-	0.75	-	-	1.5
高重合ジメチルシリロキシ(800Jm/s)	-	0.8	-	-	0.5	-	-	-	0.5	-
高重合ジメチルシリロキシ(1000Jm/s)	-	-	0.5	-	-	0.75	-	0.8	-	-
ジメチルシリロキシ(1000Jm/s)	1.75	-	-	2	-	-	1.75	-	-	2
ジメチルシリロキシ(500Jm/s)	-	1.2	-	-	1.5	-	-	1.2	-	-
ジメチルシリロキシ(500Jm/s)	-	-	1.5	-	-	0.8	-	-	1.5	-
ポリオキシエチレングリコール	-	0.02	-	0.05	0.1	0.1	0.1	0.2	0.05	-
香料A	0.4	0.6	-	-	-	-	0.6	0.2	-	-
香料B	-	-	0.2	0.5	0.8	0.1	-	0.2	0.5	1
アルコール酸ミクス*	-	-	-	0.5	-	-	-	0.5	-	0.1
水	全体を100とする量									
1. 塗布時のなじみやすさ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2. すきぎ時の指通りのよさ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3. 乾燥後のぬめらかさ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4. 乾燥後のべたつきやすさ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5. 乾燥後のサラツキ感	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6. 乾燥後のツヤ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7. 匂い立ち	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8. 残香性 (処理後8時間)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

\*: 44 C06-22/36, Oresolchem AG; 水、グリセリン、和酸、クエー、シリコン酸、リンゴ酸、存在、ヒロリド、カルボニル、ヒロリド、酸の混合物

【0033】

【表2】

11

12

(質量%)	比 較 例								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
スチレン酸ジメチルアミノプロピルアミド	1.5	0.5	1.5	-	1.5	-	1	1.5	-
スチレン酸ジエチルアミノエチルアミド	-	-	-	1	-	-	-	-	0.5
ベンジル酸ジメチルアミノプロピルアミド	-	-	-	-	-	2	1	-	0.5
エチル酸ラリル酸ジメチルアミノプロピル	-	-	1.5	-	-	-	-	-	-
セチルアルコール	-	3.25	-	2.5	-	-	-	-	1
スチリルアルコール	5.5	1	-	-	5.5	0.5	7.5	5.5	1.5
ベンジルアルコール	-	-	-	-	-	6.5	-	-	1.5
スチレン酸	-	-	3	-	-	-	-	-	-
ノルミチン酸	-	-	-	-	-	-	-	-	-
別酸	0.35	-	-	0.3	0.4	0.2	0.25	0.2	-
クエン酸	0.06	0.1	1	-	0.1	-	-	0.15	-
レシタミン酸	-	-	0.5	-	-	-	-	-	-
流動性シリカゲル	-	-	3	1	-	-	-	-	-
モノステアリン酸ジリセリド	-	-	-	1	-	-	-	-	-
オクタニル31(60%含水)	-	3.3	-	-	-	-	-	-	-
重合体ジメチルシリロキサン(5.7mm <sup>2</sup> /s)	-	-	-	-	2	-	1.5	-	-
重合体ジメチルシリロキサン(30.7mm <sup>2</sup> /s)	2	-	3	-	-	-	-	-	-
重合体ジメチルシリロキサン(230.7mm <sup>2</sup> /s)	-	-	3	-	2	-	1.5	-	1
揮発性シリコン(5%-17%)	-	2	-	-	-	-	-	-	-
ジメチルシリロキサン(200mm <sup>2</sup> /s)	-	-	-	-	1	-	-	0.5	-
ジメチルシリロキサン(100mm <sup>2</sup> /s)	-	-	-	-	1	-	0.5	-	-
ジメチルシリロキサン(500mm <sup>2</sup> /s)	-	-	-	-	-	-	-	1	-
ジメチルシリロキサン(20mm <sup>2</sup> /s)	-	-	15	-	-	-	-	-	-
ヒドロキシエチルセルローズ	0.1	-	-	-	-	-	-	0.1	-
香料A	0.6	-	-	-	-	-	-	-	-
香料B	-	0.4	適量	-	適量	適量	適量	適量	適量
パルチノール	-	0.1	-	-	-	-	-	-	-
プロピレングリコール	-	0.5	-	3	-	-	-	-	-
1,3-ブチレングリコール	-	-	5	-	-	-	-	-	-
水	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体を100とする量									
1. 塗布後のなじみやすさ	△	△	○	○	○	△	△	△	○
2. すすむ時の速乾りのよさ	△	△	△	△	△	○	○	△	△
3. 乾燥後のなめらかさ	△	×	△	△	△	△	○	△	△
4. 乾燥後のべたつきのないさ	×	△	×	△	△	△	△	×	×
5. 乾燥後のサヤ感	×	△	△	×	△	△	×	×	×
6. 乾燥後のツヤ	△	△	○	△	△	△	△	△	×
7. 匂い立ち	△	△	×	△	×	△	×	△	×
8. 残香性 (乾燥後8時間)	×	×	×	×	×	×	×	×	△

【0034】  
【発明の効果】 本発明の毛髪コンディショニング剤組成物は、香料の匂い立ちと匂いの持続性に優れ、また毛髪に塗布した時の伸びと滑り感に優れ、かつ毛髪に十分な滑らかさ、しっとり感及びツヤ、更には適度なハリ・コシを付与することができる。